

平成31年度予算に向けた新規事業採択時評価について
(平成31年3月末時点)

【公共事業関係費】

事業区分		新規事業採択箇所数
河川事業	直轄事業	1
砂防事業等	直轄事業	1
合計		2

新規事業採択時評価結果一覧 (平成31年3月時点)

【河川事業】
(直轄事業等)

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等による評価	担当課 (担当課長名)	
		貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C(億円)			
		便益の内訳及び主な根拠		費用の内訳			B/C
矢部川総合水系環境整備事業 九州地方整備局	7.9	64	7.7	8.3	(水辺整備) ・河川敷地占用許可準則22条を活用し、バーベキュー場や売店等として利用するなど水辺のオープン化を進め、地域との連携により、賑わい空間の創出と地域活性化が期待される。	水管理・国土保全局河川環境課 (課長 光成 政和)	

【砂防事業等】
(地すべり対策事業(直轄))

事業名 事業主体	総事業費 (億円)	費用便益分析			貨幣換算が困難な効果等による評価	担当課 (担当課長名)	
		貨幣換算した便益:B(億円)		費用:C(億円)			
		便益の内訳及び主な根拠		費用の内訳			B/C
天竜川中流地区直轄地すべり対策事業 中部地方整備局	195	375	122	3.1	・貨幣換算が困難な効果として、天然ダムの形成に伴う湛水・氾濫による人的被害やライフラインへの影響を軽減する効果がある。 ・事業実施により、湛水・氾濫区域内人口が89人から0人へ、災害時要配慮者数が50人から0人へ、電力機能停止による影響人口が83人から0人へ、通信停止による影響人口が83人から0人へ軽減されることが期待される。	水管理・国土保全局 砂防部 砂防計画課 (課長 今井 一之)	